



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月31日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5603 URL http://www.kogi.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 一之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	9,170	△1.0	865	29.5	926	62.4	475	133.2
28年3月期第2四半期	9,260	△6.4	668	58.2	570	69.3	203	40.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 80百万円 (△40.6%) 28年3月期第2四半期 135百万円 (△51.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	14.40	—
28年3月期第2四半期	6.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	21,914	10,945	40.9	271.11
28年3月期	20,996	10,505	42.7	271.36

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 8,952百万円 28年3月期 8,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

29年3月期(予想) 期末配当の内訳 普通配当5円00銭 記念配当1円00銭 (創業100周年記念配当)

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,800	2.5	1,700	15.8	1,700	39.8	510	△5.6	15.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）南通虹岡鑄鋼有限公司、除外 1社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	33,621,637株	28年3月期	33,621,637株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	599,643株	28年3月期	599,296株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	33,022,284株	28年3月期2Q	33,023,300株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の進行や中国景気の減速、英国のEU離脱問題等の懸念事項により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもとで当社グループは、『1. 社会における「信頼」の創造』、『2. 社内における「相互信頼」の醸成と「自立人」の育成』、『3. 新たな領域への挑戦』を柱とする第5次3カ年計画（平成28年～平成30年度）を新たにスタートさせ、国内事業の基盤強化に努め、また、海外事業においても、本年6月、中国江蘇省南通市に南通虹岡鑄鋼有限公司を設立するなど、事業の拡大を進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高91億7千百万円（前年同期比 1.0%減）、営業利益 8億6千5百万円（前年同期比 29.5%増）、経常利益 9億2千6百万円（前年同期比 62.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億7千5百万円（前年同期比 133.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鑄物関連事業

鑄型は、エネルギー関連の低迷で、鍛鋼、厚板用鑄型の需要は減少しましたが、主要顧客先の特殊鋼メーカーの設備更新に伴う需要増により、売上高は、前年同期並みで推移しました。ロール、自動車用プレス金型鑄物、大型産業機械用鑄物は、各主要顧客先の需要が伸び悩み、売上高は、前年同期を下回りました。小型鑄物は、下水道鉄蓋や電線共同溝用鉄蓋は低調に推移しましたが、機械鑄物が好調で、売上高は、前年同期並みで推移しました。デンスパーは、中国の景気後退による影響で国内需要が減少し、売上高は、前年同期を下回りました。中国国内で自動車用プレス金型鑄物の生産・販売を手がける天津虹岡鑄鋼有限公司は好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は、78億5千1百万円（前年同期比 2.4%減）、セグメント利益 8億7千6百万円（前年同期比 74.6%増）となりました。

② その他の事業

送風機は、民間設備投資が依然低調で、売上高は、前年同期並みで推移しました。環境・省エネ商品のトランスバクターは、自動車関連向けは減少傾向にありますが、IT関連向け検査装置冷却用クーラー等の需要増により、売上高は、前年同期並みで推移しました。KCメタルファイバーは、自動車向け需要が低水準にあり、売上高は、前年同期を下回りました。KCカーボンセラミックスは、アルミ・銅関連が順調に推移し、売上高は、前年同期並みで推移しました。環境装置事業は、大型案件受注により、売上高は、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、13億1千9百万円（前年同期比 8.6%増）、セグメント利益 8千6百万円（前年同期比 22.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、129億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億2千3百万円増加いたしました。これは、主として現金及び預金が6億8千6百万円、電子記録債権が3億3千2百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定資産は、89億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5百万円減少いたしました。これは、主として有形固定資産が7千9百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、219億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億1千8百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、75億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2千6百万円増加いたしました。これは、主として短期借入金が3億4千3百万円増加したことなどによります。

固定負債は、34億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5千2百万円増加いたしました。これは、主として長期借入金が3億5千万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、109億6千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億7千8百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、109億4千5万円となり、前連結会計年度末に比べ4億3千9百万円増加いたしました。これは、主として非支配株主持分が4億4千7百万円増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の42.7%から40.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、本日発表の「平成29年3月期第2四半期累計期間における業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益が前回発表値を上回る見込みとなりましたので、業績予想を修正いたします。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後様々な要因により、実際の業績が異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,025	2,711
受取手形及び売掛金	6,343	6,221
電子記録債権	461	793
商品及び製品	1,040	1,232
仕掛品	1,011	1,082
原材料及び貯蔵品	709	610
繰延税金資産	165	95
その他	167	189
貸倒引当金	△21	△9
流動資産合計	11,903	12,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,706	1,555
機械装置及び運搬具(純額)	2,799	2,676
土地	1,220	1,220
その他(純額)	864	1,059
有形固定資産合計	6,591	6,512
無形固定資産		
	19	13
投資その他の資産		
投資有価証券	2,109	2,076
繰延税金資産	48	43
退職給付に係る資産	198	221
その他	124	120
貸倒引当金	—	△0
投資その他の資産合計	2,481	2,462
固定資産合計	9,092	8,987
資産合計	20,996	21,914

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,993	2,970
短期借入金	1,870	2,214
未払法人税等	180	161
賞与引当金	159	152
その他	2,170	2,001
流動負債合計	7,375	7,501
固定負債		
長期借入金	2,897	3,248
未払役員退職慰労金	47	47
退職給付に係る負債	157	161
その他	12	10
固定負債合計	3,115	3,468
負債合計	10,490	10,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	587	587
利益剰余金	6,043	6,354
自己株式	△68	△68
株主資本合計	8,564	8,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	73
繰延ヘッジ損益	△2	△4
為替換算調整勘定	382	80
退職給付に係る調整累計額	△79	△72
その他の包括利益累計額合計	396	77
非支配株主持分	1,544	1,992
純資産合計	10,505	10,945
負債純資産合計	20,996	21,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	9,260	9,170
売上原価	7,521	7,231
売上総利益	1,739	1,939
販売費及び一般管理費	1,070	1,073
営業利益	668	865
営業外収益		
受取利息及び配当金	26	17
寄付金収入	—	67
その他	37	25
営業外収益合計	63	110
営業外費用		
支払利息	37	28
持分法による投資損失	105	—
その他	18	21
営業外費用合計	161	49
経常利益	570	926
税金等調整前四半期純利益	570	926
法人税、住民税及び事業税	193	217
法人税等調整額	14	19
法人税等合計	208	237
四半期純利益	362	689
非支配株主に帰属する四半期純利益	158	213
親会社株主に帰属する四半期純利益	203	475

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	362	689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△274	△23
繰延ヘッジ損益	4	△1
為替換算調整勘定	66	△592
退職給付に係る調整額	6	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	—
その他の包括利益合計	△226	△608
四半期包括利益	135	80
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△54	156
非支配株主に係る四半期包括利益	190	△76

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	570	926
減価償却費	453	462
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16	△12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3	3
受取利息及び受取配当金	△26	△17
支払利息	37	28
固定資産処分損益 (△は益)	1	2
持分法による投資損益 (△は益)	105	—
売上債権の増減額 (△は増加)	477	△593
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△209	△198
仕入債務の増減額 (△は減少)	△363	△19
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△16	△23
その他	△214	△27
小計	806	531
利息及び配当金の受取額	26	17
利息の支払額	△37	△27
法人税等の支払額	△96	△220
営業活動によるキャッシュ・フロー	699	301
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	50	—
有形固定資産の取得による支出	△291	△499
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付けによる支出	—	△2
貸付金の回収による収入	—	0
その他	△2	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△244	△504
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	138	322
長期借入れによる収入	600	1,226
長期借入金の返済による支出	△756	△804
社債の償還による支出	△30	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
非支配株主からの払込みによる収入	—	524
配当金の支払額	△165	△165
非支配株主への配当金の支払額	△63	△169
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△278	931
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△42
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	181	686
現金及び現金同等物の期首残高	1,887	2,014
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,068	2,700

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鋳物関連事業	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	8,045	1,214	9,260	—	9,260
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	2	△2	—
計	8,045	1,217	9,263	△2	9,260
セグメント利益	501	111	613	△42	570

(注) 1. セグメント利益の調整額△42百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△71百万円、営業外収益が47百万円、営業外費用が△18百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鋳物関連事業	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	7,851	1,319	9,170	—	9,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	2	△2	—
計	7,851	1,321	9,173	△2	9,170
セグメント利益	876	86	963	△36	926

(注) 1. セグメント利益の調整額△36百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△113百万円、営業外収益が98百万円、営業外費用が△21百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。